



# いつわ清隆 だより 第54号

平成27年11月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：板山 孝宏 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



## 20回目の登壇!

晩秋の候、皆さまに於かれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

### 50回目の定例議会・20回目の質問

さる、9月1日から定例議会が開催されました。平成15年4月に初当選後、50回目の定例会となり、一般質問(会派代表含む)への登壇は今回で20回目とな

りました。平成15年7月1日、初当選後の最初の議会にて、初めて一般質問をすることとなり、先輩・同僚議員・傍聴者・市長及び市の理事者が見守る中、緊張のあまり大量の汗をかきながら質問をしたことを今でも忘れることは出来ません。今回で20回目となりましたが、緊張感

は初めて登壇した時と変わりがありません。

一般質問の登壇予定日時は、議会開会日に議会運営委員長長の抽選で決まるため、早めに連絡することが出来ませんが、平日の忙しい中、多くの方々から傍聴いただき大変感謝しております。

今後も市民の代表として可能な限り登壇して行きたいと思っております。

### 5項目の一般質問しました

9月4日(金)13時から5項目の一般質問を行いました。一つは、今年3月末で閉館となった「長崎市公

### 今後共、ご指導をお願い致します

私も4期目の市会議員として、市民の声を行政に反映して、長崎市に「住みたい・住んでいて良かった」と思えるような街づくりと市民の皆さんが「安全で安心して生活できる環境づくり」に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

# 約3億9,400万円(一般会計補正予算)

## 33議案可決!

平成27年9月議会



### 補正予算の主な内容

平成27年第4回長崎市議会定例会は、9月1日(火)から18日(金)までの18日間の日程で開催され、一般会計補正予算(約3億9400万円)、条例改正・人事案件などの33議案が可決・同意しました。

#### ◆端島(軍艦島)整備基金

4,800万円

7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産である端島炭坑(軍艦島)の保存及び活用のための整備事業に要する経費の財源に充てるため、端島(軍艦島)整備基金を設置し、積み立てを行うもの。

#### ◆「明治日本の産業革命遺産」理解促進費

500万円

7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」全体の世界遺産価値と、その価値に貢献する各構成資産の価値を正確に説明するため、構成資産が所在する8県11市で構成する「九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進協議会」が実施する情報発信のためのシステム開発に係る負担。

#### ◆戸籍住民基本台帳費

個人番号カード推進事業費

2,309万円

平成27年10月から始まる個人番号カードの申請・交付の方式について、従来の交付時来庁方式に加えて、申請時来庁方式や勤務先企業などによる一括申請方式についても国から示されたため、新たな方式を採用することに伴う郵送料などの経費の増。

#### ◆高年齢者福祉施設整備事業費

補助金:2,083万6千円

#### ①有料老人ホーム設備

1億5,730万1千円

有料老人ホーム及び宿泊サービス通所介護事業所におけるスプリングラー設備等の整備に對して助成する。

#### ②宿泊サービス通所介護事業所設備

3,000万円

#### ◆児童福祉施設整備事業費

3,000万円

#### ◆地球温暖化対策市民運動推進費

748万7千円

市民の自発的かつ継続的な環境行動を促進するため、市民主体の環境活動の拠点を整備するとともに、「長崎市地球温暖化防止活動推進センター」における市民の環境保全活動に対する相談、助言、支援などの業務を行うもの。(補正予算計上額 568万7千円)

#### ◆農業振興施設整備事業費

1,219万8千円

#### ◆農産物直売場整備事業費

1,601万7千円

#### ◆長崎駅周辺エリアデザイン検討費

1,251万9千円

#### ◆野母崎炭酸温泉Alego軍艦島リニューアル費

900万円

#### ◆野母崎海の健康村の名称変更に伴い、客室などの改修及び看板・誘導サインの制作などを行う。

#### ◆追加設計費用

2,503万7千円

#### ◆負担割合

1/2

#### ◆当初予算額

1,601万7千円

業費補助金認定こども園 : 4,013万8千円  
待機児童の解消と多様な保育需要への対応を図るため、幼保連携型認定こども園の開設にあたり、私立幼稚園の空き教室を活用した認可保育所を新たに設置するための施設整備に對して助成する。  
(50人の定員増)  
友愛社会館幼稚園(定員50人)  
・補助率 3/4  
◆地球温暖化対策市民運動推進費 : 748万7千円  
市民の自発的かつ継続的な環境行動を促進するため、市民主体の環境活動の拠点を整備するとともに、「長崎市地球温暖化防止活動推進センター」における市民の環境保全活動に対する相談、助言、支援などの業務を行うもの。(補正予算計上額 568万7千円)  
小中学校における環境教育の活性化を図るため、学校の特色ある環境行動を宣言して、市民にネットワークに参加する「ながさきエコスクール」の環境活動の拡大に必要な経費を支援するもの。(補正予算計上額 180万円)  
◆当初予算額 1,219万8千円  
◆農業振興施設整備事業費  
道の駅夕陽が丘そとめ : 3,000万円  
「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録

を見据え、外海地区における観光客の受入態勢整備の一環として、来客者数の増加が見込まれる「道の駅夕陽が丘そとめ」において、駐車場を増設するもの。

◆事業期間 平成27年度～28年度

◆野母崎炭酸温泉Alego軍艦島リニューアル費 : 900万円

野母崎海の健康村の名称変更に伴い、客室などの改修及び看板・誘導サインの制作などを行う。

◆長崎駅周辺エリアデザイン検討費 : 1,251万9千円

新長崎駅の新幹線駅舎上家デザインの設計に係る基本的な方向性を独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が実施する駅舎下部構造物の詳細設計に反映させるに当たり、追加設計費用が生じるため、その経費を県とともに負担するもの

◆追加設計費用 2,503万7千円

◆負担割合 1/2

◆当初予算額 1,601万7千円

ご相談はお気軽に!

k.itsuwa

長崎市の都1丁目1444-13  
自 宅 ☎ (844) 95999  
生活相談室 ☎ (861) 19885

# 9月4日 一般質問を行いました！

1. 新たな文化施設について
2. 地球温暖化対策について
3. 人口減少対策について
4. ジェネリック医薬品の使用促進について
5. 世界遺産登録に伴う維持管理費について

## 主な質疑内容

### 1. 新たな文化施設について

**質問** 昨年6月の定例会議において、平成27年3月末で長崎市公会堂条例を廃止する条例が上程され、「県庁舎跡地の活用において、不転の決意をもって早急に県・市の意見をまとめること」を要請する付帯決議をもって議会で可決された。その後1年以上経過しているが、いつまでに県との協議を終了し、方針を決定するのか。



今年3月末で閉館となった「長崎市公会堂」

**答弁** 昨年6月の県庁舎跡地活用プロジェクト会議において、県市で調整していくことを確認し、現在も協議を行っています。

市からは、ホール機能は1000から1200席の規模で、高いレベルで音楽や演劇に利用できるものを提案し、県市が求める機能や役割分担に応じて適切な費用負担を行う考えも申し上げています。

県からは、市が検討している長崎駅西側の交流拠点との機能の重複がないか見極めが必要であるので協議を進めて行きたいとの意向である。

8月4日の県知事・県議会議長への要望で、県庁舎跡地の整備方針の早期決定と市の提案実現の要望を行い、県知事から県庁舎跡地は県民の大切な財産であるので、いつまでにやるかという期限を設けるのは難しいとの回答であった。

市としては、ぎりぎりまで協議を続け、しかるべき時期に新たな文化施設の建設場所を示したいと考えているが、現時点で時期を明言することは難しい。

### 2. 地球温暖化対策について

**質問** 地球温暖化は重要な環境問題である。市民・企業と連携し温暖化対策に取り組んでいもらいたい。また、東日本大震災以降、電気料金の平均単価は家庭用が25・2%、産業用が38・2%上昇している。他の自治体ではCO2削減・光熱水経費削減を目的とし「ESCO事業」を導入している。本市においても導入の検討が出来ないか。

**答弁** 地球温暖化問題は、行政だけで解決できるものではなく、市民・事業者・行政の協働した取り組みが重要と認識しており、「長崎市地球温暖化対策実行計

画協議会」や「ながさきエコネット」などと連携して市民協働による長崎らしい低炭素社会づくりを進めていきます。

ESCO事業の対象となる施設は、熱需要などのエネルギー消費量が多く、設備が古くエネルギー効率が悪く設備を有している設備が挙げられますので、CO2削減・コスト削減から有効な手法と考えられますので、対象となる施設の有無、事業展開の可能性について、関係部局と連携を図りながら協議してまいります。

### 3. 人口減少対策について

**質問** 長崎市は、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域社会を維持していくことを目的に、昨年11月に「人口減少対策推進本部」を設置され、平成27年度中に策定に向けて取り組んでいるが、重要ポイントをどこにおいているのか。

**答弁** 長崎市の平成26年の推計人口は約43万4千人で、ピーク時の昭和60年と比較すると、約7万2千人減少しています。

主な要因として、未婚率の上昇や晩婚化・晩産化などによる少子化の進展、10代後半から20代の若年層の進学・就職時における働きがいや安定した収入と雇用を求めて大都市圏に多く転出していることが挙げられます。

その為に「交流の産業化」をキーワードに、「人を呼び込む仕掛け」「稼ぐ仕掛け」「人材を育成する仕掛け」等について、民間企業・大学・行政や団体等の各々が当事者意識を持って「何ができるか」「何か連携した取り組みはできないか」といった視点で知恵を出し合いながら、自主性・主体性が発揮できる総合戦略を策定し、人口減少対策に取り組めます。

### 4. ジェネリック医薬品の使用促進について

**質問** 全国の市町村の国民健康保険課では医療費が年々増加する中で医療費抑制に向けて色々な取り組みが実施されていますが、長崎市はジェネリック医薬品の使用促進をどのように取り組んでいるのか。

**答弁** 長崎市は、ジェネリック医薬品の普及に向けて「ジェネリック医薬品希望カード」「利用促進通知」など推進しているが、国の目標値に達していないこともあり、今年8月からの国民健康保険証のカード化に合わせ、「ジェネリック医薬品希望シール」を作成し、全ての被保険者に対し



旧国民健康保険証



カード化された国民健康保険証

ジェネリック医薬品希望シール

て保険証と一緒に送付し、保険証に貼ってもらうことで一層の使用促進を図っています。

**要望** 平成25年12月議会の一般質問で国民健康保険証のカード化を要望し、今年8月に被保険者全員へのカード化が実現したが、医療費削減・患者の軽減策には「ジェネリック医薬品」の拡大は必要な取り組みであるので、利用率の向上に向けてPRを徹底することを要望します。

### 5. 世界遺産登録に伴う維持管理費について

**質問** 今年7月5日に「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されました。その内、長崎市内に8施設があり、特に端島炭坑「軍艦島」の維持・保全には多額な費用が予想されるが、長崎市の負担費用はいくらになるのか。

**答弁** 端島炭坑は、本年度、約1,700万円をかけて見学施設の点検や修繕を行っています。

現在、簡易に積算した11億円から158億円の5つのパターンを試算していますが、専門家で構成する「高島炭鉱整備活用委員会」での議論を経て、今年度中に再度積算します。端島の護岸や生産施設など緊急的



見学施設の点検や修繕が行われている端島炭坑(軍艦島)

に整備が必要な個所については、本年度から着手し、本年度事業の整備財源は、総事業費の50%が国庫補助金、残る50%は過疎対策事業債を充当します。

過疎対策事業債は償還時に交付税措置があり、市議会からの長崎県への働きかけもあり長崎県からの補助金も交付されることから、長崎市の実質的な負担は総事業費の9%となります。